

2026年9月6日
楽しくなくっちゃ同窓会じゃない！

常磐会総会

二〇二六 常磐会総会



福岡県立京都高等女学校同窓会

福岡県立京都高等学校同窓会

当番回生

平成6年卒業 高校46回生・平成6年卒業 定時33回生

平成19年卒業 高校59回生・平成31年卒業 高校71回生



MIYAKO2026



校訓 敬創英知 愛造和

2026年度 常磐会のテーマスローガン

楽しくなくっちゃ同窓会じゃない！

私たちの価値観（バリューズ：Values）

私たちは、学び得た英知で社会に貢献したい。

私たちは、新興の意気を持って創造的でありたい。

私たちは、母校を誇りに思い、同窓生を敬愛したい。

私たちは、地域の文化をけん引する存在でありたい。

私たちは、母校の躍進のため行動したい。

私たちは、希望の燃ゆる卒業生になりたい。

※「校訓」「校歌」「常磐会会則」を元に実行委員会の行動指針を再構成しました

視覚的象徴（ビジュアルアイデンティティ：VI）

京都体操の手を伸ばすポーズ

全ての京都卒業生にとって母校京都高校を思い出す
象徴的なポーズであり同じ思いを共有する体験である。

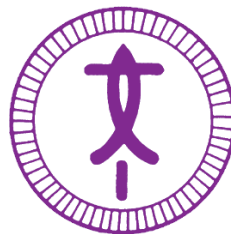
そして、そのポーズを見るだけで言葉を言わずとも
感じ入ることが出来る京都卒業生だけが持つ感覚である。



Contents

校歌（高女・高校）	01		歴代会長・校長	23
常磐会会長挨拶	02		職員一覧	24
京都高等学校校長挨拶	03		令和7年度進路状況	25
実行委員長挨拶	04		部活動活動状況	26
記念事業	05		定時制職員一覧・近況報告	27
協力回生の集い	06		京都研修	28
京都体操の起源	08		協賛広告（カテゴリー分類）	34
恩師からのおたより	10		索引	90
卒業生からのおたより	15		編集後記	93
常磐会会則	20		実行委員会組織図・奥付	94
常磐会本部役員名簿	21			
常磐会イベント実績	22			

京都高等女学校校歌



古鏡を表す銀台に七宝で隸書の「京女」を打ち出す。京女を松葉になぞらえ、「常磐」の意味を象徴している。

作詞 小川 直熙
作曲 新 清次郎

一、京都を名に負う 学の窓に
常磐の契りを 結べる友よ
みくにの前途の 運命を擔ふ
母こそわれらぞ 使命は重し
雅に優しく かざりをいとひ
まごころこめつ、いそしみつとめ
四年の教訓を心に秘めて
母校のほまれを伝へむ永遠に
みやこ みやこ
われらの みやこ

二、英彦の高嶺のこごしき坂を
書籍よむわれらの 訓と仰ぎ
周防の大難 たたふる水の
清きを貞操の 鏡とあがめ
からだをきたへて 皇国につくし
平和の使と 雄々しく立たむ
かくてぞひろがる 母校の誉
いざ声そろえて たたえむその名
みやこ みやこ
われらの みやこ



「京」の字を表す構図の中心に「高」の文字を白く浮き上がらせたもの。

京都高等学校校歌

福井直秋 作曲
島田芳文 作詞

一、風薫る 若き世紀の 朝ぼらけ
揺がぬ姿 英彦山
学びの窓に 仰ぎ見て
ここに誓いし 若人われら
文化の京都 その名もゆかし
ああ躍進の わが母校
二、水清き 尽きぬ流れの 今川の
たゆまず注ぐ 周防灘
真理の深さ 究めつつ
ここに競わん われらが腕
希望は芽えて 聖火は燃ゆる
ああ新興の 意気昂し

三、天地の 恵み豊かに 野に充ちて
夕陽に映ゆる 平尾台
聞け遙かなる 自治の鐘
ここに築かん 理想の庭を
友愛清く 華咲き乱る
ああ青春の この三歳
四、爽やかに 若き眸の 眉あげて
見よ美わしの 常磐木は
わが学び舎の 誇りなり
ここに創らん われらが歴史
校風永遠に 輝きわたる
ああ栄光の わが母校





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

ごあいさつ



常磐会会長

和田 雄二

(高校31回生)

常磐会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より母校及び常磐会に對しまして、物心両面にわたり多くのお力添えをいただきまして厚くお礼申し上げます。

今年も常磐会の季節がやってまいりました。まずは、この1年間を大過なく務めることが出来たのも会員の皆様方のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も、常磐会の「常磐」が意味する「永久不変」の歴史と伝統を引き継ぎ、熟慮断行の精神で臨んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、母校京都高等学校は本年度で創立110周年を迎えます。母校創立とほぼ同時に発足した同

窓会常磐会も本年度に発会110周年を迎えることになります。本会会則の第2条に「本会は母校を中心として会員相互の連絡親睦を深め、併せて各自の知徳の向上発展を図り、母校の名誉の発揚に寄与することを目的とする」とあります。

但し、本会の総会は110年の長きに亘り引き継がれてきた、一年に一度、同窓の皆で集い、旧交を温め、親睦を深める大変有意義な機会でもあります。是非多くの会員の皆様に総会事業へご出席いただきますようお願いいたします。

本年度の総会実行委員会は、平成6年卒業の高校46回生・定時33回生、平成19年卒業の高校59回生、平成31年卒業の高校71回生の皆様に組織されます。小森敏弘実行委

員長を中心に、昨年度からの引継ぎをしていただきました。世の中は、ようやくコロナ禍からの脱却を迎えたかと思いきや、ヨーロッパ、中東方面での戦争勃発や物価高騰、円安の進展など、株価は上昇するも国民の生活は一向に楽にならないという経済状況が続いています。そのような世情をものともせず、実行委員の皆様は、総会事業の成功に向かって一丸となつて取り組んでいただいています。皆様のご尽力に敬意を表し、心より感謝申し上げます。

また、本年度総会事業の開催にあたり、このような厳しい経済状況が続く中にもかかわらず、快くご協賛いただきました皆様に対して心よりお礼申し上げます。皆様のご厚意は、総会事業の運営、現役京都高校生への援助に大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。

母校創立110周年記念事業としましては、10月の記念式典の開催までに、記念誌の発行、野球とバドミントンの記念試合、記念芸術鑑賞会等が計画されていますが、創立周年記念事業の意義は、「本校の何たるかを在校生に伝え、在校生

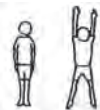
たちの学校生活に対するモチベーションアップを図ること」、「本校の歴史を振り返り、これから目指す未来像を明確にすること」であります。常磐会会員の皆様も、この110周年を機会に母校京都高校を再認識していただき、新たな気持ちで母校の発展に寄与していただきますようお願いいたします。

結びとなりますが、母校京都高校のさらなる躍進と、同窓会常磐会のますますの発展、あわせて本年度常磐会総会の盛会を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。



○常磐会公式ホームページURL
<https://dousoukai.site/miyako-tokiwakai/>





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

ごあいさつ



校長

合 満 聡

本年度の常磐会総会が盛会のうちに開催されますことを、心からお慶び申し上げますとともに、開催に当たり御尽力された当番回生の皆様に深甚なる敬意を表します。

また会員の皆様には、平素より母校の教育活動に対し、格別の御支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。

本校は、本年十月三十一日に、創立百十周年記念式典を挙行いたします。これまでの本校の歩みを顧み、次代への新たな礎となる意義深き節目です。大正六年の開校以来、時代の変遷の中で、着実に歩みを重ねることができましたのは、同窓会の皆様の温かな御支援の賜物です。在校生にとりまして、本校の歴史と伝統を学び、先

輩諸氏が築いてこられた校史の重みを実感する貴重な機会です。ぜひ多くの同窓会の皆様にも母校の佳節を祝していただけますと幸いに存じます。

今春卒業いたしました高校第七十八回生が、目標に向かって努力を重ね、素晴らしい成果を残してくれたことを大変嬉しく感じます。日々の学業はもとより、仲間と切磋琢磨しながら成長を重ねる姿は、まさに本校の伝統を体現するものでした。また、運動部、文化部ともに日頃の鍛錬の成果を発揮し、全国大会や九州大会へ出場するなど、各分野で素晴らしい実績を収めています。困難に直面しても挑戦を続け、感謝の念を持ち行動する姿が、多くの方々に感銘

を与えています。生徒たちの姿を見るたびに、良き校風と伝統、そして京都生の誇りが、世代を超え、脈々と受け継がれていることを実感いたします。

現在本校では、伝統を継承しながら、新しい時代に即した教育の充実にも鋭意、力を注いでいます。その一環として昨年度より「DXハイスクール」の指定を受け、探究活動の充実と情報活用能力の育成を推進しています。急速に変化する社会の中で、主体的に課題を見いだし、他者と協働しながら未来を切り拓く力を身に付けることが求められる中、本校は、伝統校の誇りを胸に、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいるところです。また、本校の特色ある教育活動の一つ、「京都研修」を、昨年度より1年生での実施へと変更いたしました。早い段階で、京都

で深く感謝申し上げます。結びに、各方面に御活躍の皆様が、常に深い母校愛で本校を温かく見守り続けてくださることは、在校生にとって何よりの大きな励みであり、本校教育を支える大きな力となっています。今後とも変わらぬ御支援をお願い申し上げますとともに、常磐同窓会のますますの御隆盛と、会員の皆様の御健勝、御多幸を心より祈念申し上げます。御挨拶いたします。

大学を訪れ、先輩の講義を受講し、留学生と交流で視野を広げ、自己の可能性を高めさせたいとの願いによるものです。実施時期の変更に際し、奨学会より温かい御理解と御支援を賜りました。後輩たちの成長を願い、教育活動を支えてくださる皆様の御心遣いに、改め





ごあいさつ



実行委員長

小森 敏弘

(高校46回生)

2026年度常磐会総会実行委員長の46回生小森敏弘です。当番回生高校46回生、59回生、71回生、定時制33回生を代表いたします。ごあいさつ申し上げます。常磐会総会の開催にあたりまして地域の皆様、京都高校校長をはじめとする京都高校の皆様、常磐会役員をはじめとする会員の皆様の多大なるご理解とご協力をいただきまして、心より御礼申し上げます。

高校時代の私は、成績も振るわず、スポーツが得意というわけでもなく、学年やクラスで目立つような存在ではない普通の生徒でした。

それが、2013年の中当番の時に、実行委員会に入らないかと声がかかったことをキッカケに、高校時代には話したことも無かつ

た、今一緒にやってる実行委員会メンバーと知り合うことができました。名前は知っているけど、ほぼ初対面の同級生とこんなに仲良くなれたのは、同じ釜の飯の同窓生だからこそだと思います。親当番である33回生の先輩方の配慮で、我々46回生はイベント部会を全面的に任せてもらえました。毎月、部会を開いて、喧々譁々と会議をして、みんなで分担して作業や手配を行いました。みんな流石、京都の卒業生で、積極的に意見が交わされるし、分担も確実にこなしてくれます。部会長として、こんなに優秀な仲間がいるのを心強く思いました。

頭髪検査、持ち物検査、京都体操、週末の課題、0時限目、夏休

みの補講、成績順位といった厳しい京都高校の環境があったからこそ（当時は、めちゃくちゃ嫌だったけど・・・）今がある。人間性の形成が行われる思春期に同じ高校に通い、同じ苦労をして培われた価値観があるからこそ、京都卒業生としての今の自分達があるのではないかと思います。

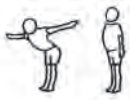
そして、当番回生という機会が準備されています。この機会があるから同級生と新たな親交を深め、母校京都高校の素晴らしさを思うことができるのだと思います。今年のテーマスローガンは、「楽しくなくっちゃ同窓会じゃない！」です。楽しむために、京都卒業生全員が楽しんだ（？）京都体操をフューチャーする京都体操広報部会を組織し、インスタグラムを立ち上げ、常磐会総会懇親会で、全員で京都体操（安全のために簡易版♪）を演舞する予定です。

当番回生一同で、この常磐会総会を楽しみながら創ってまいりました。参加される常磐会会員のみなさまも、同窓との親交を深め、母校京都高校を思い出し、目一杯楽しんでくださるようお願い申し上げます。



最後になりましたが、2026年常磐会総会の開催のために、広告協賛をいただきました地域の企業の方々、先輩後輩の皆様、京都高校に心を寄せていただいた多くの方々に、心よりの感謝を申し上げます。そして、何よりもこの一年間、一緒に汗を流し、笑い合った愛してやまない46回生の仲間、文句も言わずついて来てくれた可愛い59回生、71回生、定時制33回生の仲間、に、「ありがとう！」を伝えさせていただいて、実行委員長のごあいさついたします。





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

2026年
福岡県立京都高等学校同窓会
常磐会総会 記念事業

常
磐
会
記
念
落
語

京都寄席

落語家・真打

柳家
喬太郎

詳しくは
特設サイトへ



2026年 9月6日 日

12:30開場 13:30開演

会場 **コスメイト行橋**

福岡県行橋市中央1丁目9-3 6歳未満入場不可

〔主催〕京都高等学校同窓会 常磐会

本公演に関するお問い合わせ ☎090-4721-6247 (小森)

入 場 料

自由席 2,000円

指定席 3,500円

※ただし、一部常磐会先行発売あり

チケット発売開始日 6/27

コスメイトにて販売

チケットに関するお問い合わせ

☎0930-25-2300





2026年度 常磐会総会

協力回生のつどい

日時 2026年6月20日(土) 18時～

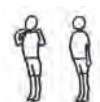
会場 料亭 金龍

ご参加くださった皆様ありがとうございました





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026





昭和16年12月生まれ

現在84歳

京都高校を卒業後、

日本体育大学へ

新卒で母校・京都高校に赴任

(14年間勤務ののち、苅田工業

高校、築上西高校へ赴任・退職)



馬場

幸次先生

青春の通過点 "京都体操"の 起源に迫る!!

Q 京都体操ができた経緯を教えてください。

A あれは赴任して1、2年した頃だったと思います。当時、運動会では3年生がフオークダンス、2年生も何かあつて。1年生だけが何も無い。そこで当時の上司が私に『おい馬場、お前が何か考えろ!』と言われると体育教官室で一番年の若かった私は『はい!』というしかありませんからね。これは困ったな、と。そこで県内の色々な学校の運動会にも足を運びましてね。実際に見て廻って。どこの学校とは言えませんが、ある学校が体操をやっていた。こういうのが出来たらいいなと。いくつかの学校の先生に頼み込んで、資料をもらえませんかとお願いでしてですね。案外、いいですよと快諾してくれて。そこからは、あーでもない、こうでもない、いろいろ試行錯誤しましてね。結果、出来上がったのが、京都体操というわけです。

Q では、京都体操は馬場先生が作られたということですね。

A まあ、そうなりますなあ。

Q 先生は部活動の顧問はされていらつしやいました?

A 最初はバレー部を。バトミントン部の先生が別の学校に赴任されてから、バトミントン部の顧問をやりました。

Q 先生が赴任してこられた頃の先輩のお話で、ある先生が応援団を作られたというお話が出ていたのですが、それは馬場先生ですか?

A いや、私ではないです。和田先生という先生が、前の赴任校でも応援団を作られていて、当時の京都高校には応援団がなかったものだから、その先生が作られました。大学時代に応援団に所属されていて、気合が入っていましたなあ。懐かしい。

Q そうでしたか。先輩の話では、いつも竹刀を片手に、怖い先生だったとお聞きしていたので、馬場先生のイメージと違うなあと思います。

A あゝ、竹刀ね。応援団の先生は持っていたかもしれませんね。

私ではないな。

あの頃は、体育教官室でそうめんを湯がいたから食べに來い、と学生に声を掛けたりして。自分も若かったし、楽しかったですよ。

Q 京都体操以外の運動会の思い出などあればお聞かせください。

A 昔はね、女子が多かったでしょうが、商業科と被服科があつて。なもんだから、女子生徒の方が多いて、余つてしまう。そうすると、女子の背の高い子はいつも男役。そんなのずるいよと不満が出ましてね。不公平にならないように、メンバーを入れ替えて踊らせたり。

それで一段落かと思つたら、今度は男子の〇〇君は手を繋がないとか私の方にブーブー言つてきて、まあ気恥ずかしさからでしょうが、私に言われてもですね。参りました(笑)

Q 当時の京都高校の雰囲気はどうでした?

A やはり進学が第一。体育部に入っていたら、部活を辞めろと、そんな時代でした。もし部活を辞めないで続けるならば、クラスを落とされたり。そんなことしなくてもと





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

思うんですけどね。

Q どの時代にもやはり要領のいい子
はいて、授業が単調な先生に対して、
『単位に必要な授業は受けましたの
で、あとは自主学習させてもらいま
す』と言って教室を後にした子もい
ましたなあ。東大に行くような子も
いましたし。

合格発表の時期になると、今年は
九大に何人合格したとか、職員室で
固唾を飲んで見守って、同僚の先生
たちと喜び合ったのを覚えています。
私が担任していた時、文化祭で餅
つきをしようということになり、築
城の生徒の家まで臼を取りに行った
こともありましたね。

Q 私たちの頃にも文化祭で餅つき
をしたクラスがありました！
A あゝ、では続いていたんでしょ
うな。

生徒の家に取りに行ったら、その
子のお母さんが『そういうことなら、
良いですよ、貸します、持って行っ
てください！』と快諾してくれて。
その時の様子は忘れませんね。

Q 修学旅行の時の思い出などあ
りますでしょうか。

A そうですね、色々行ったと思い
ます。スキーの年もあったし。
スキーなしの飛騨高山に行った年も
ありました。ある時、生徒が『先生、
スキーより東京に行きたい！』と
言った学年がありましてね。スキー
2泊、東京2泊だったかなあ、東京
に行ったわけです。そうすると、と
んがった皮靴を履いている人たちが
いて、びっくりしちゃって。自分た
ちは田舎者だなと思って、先生、東
京はもういい、早く帰ろうと。こん
なことなら全部スキーの方が良かつ
た、なんて言うわけです。思っ
たイメージと違ったんでしょ

Q 今でも運動会では京都体操が
続いています。創始者として
作られた先生はどんなお気持ちで
しょう。

A まさかね、そんなに続くとは、
始めた時には思いませんでした
けどね、光栄なことですよ。何年
か前、お孫さんが運動会で京都体操
をやったのを見て、感激しました、
作ってくださったありがとうございます
ましたというお手紙を頂いたことが
あるんですよ。あれも嬉しかったです
ね。

「あとがき」

お約束の時間に玄関まで出てき
てくださった馬場先生。終始にこ
やかな表情で、数々の思い出話を
伺うことができました。

その中で一瞬、先生の眼が鋭く
光った瞬間がありました。それは
『最近の京都体操は見ていないけ
れど、果たして私が厳しく指導し
ていた時と同じように出来ている
かどうか、気になりますね』とお
話しされた時。

その眼差しは、優しくも厳しい
体育教師の顔でした。

現在84歳、お元気に生活されて
います。遠出は控えています、
とのこと。『私にできることがあ
れば、いつでも言うてください』
そう言っていたので、図々
しくも、懇親会で簡易版を作っ
てみんなでやろうという話になっ
ているんです、とお話したところ、
『簡易版、ならば時間のこともあ
るし、3〜4種類かな』と即答。
先生イチオシのポーズも伺うこ
とができました。

馬場先生、ありがとうございます
ました。

文責 宇都宮 咲子

その後の調べで29回生から始まっ
たことが判明。
詳細はインスタグラムのプロジェ
クトMで。

京都体操は
高校29回生から
始まった！





恩師からのおたより

「若かりし頃を
思い出しながら」

46回生 3年8組担任

辻畑 覺先生



42回生の担任として原稿を書いてから四年経ちました。卒業生の皆さんは、お元気で活躍のことと
思います。近年、卒業生、後輩・

同僚や諸先輩の先生が逝去されていることを思うと寂しい限りです。私は、77歳になりました。後期高齢者の仲間入りをして、免許証の更新では認知症の検査を受けています。

高血圧や糖尿病の予防薬を飲んでいますが、体調は良好で元気に過ごしています。四年前と変わったことは、禁煙したことです。止められないと思っていましたが、思った以上にうまくいき、今は、喫煙所探しに時間を取られることもなく、孫にこづかいを渡す余裕もできて、喜ばれています。

京都高校での生活で一番に思い出すのは、教職員間の雰囲気がよくて、互いに助け合う明るく楽しい職場だったということです。当時の私は、学校へ行くのが楽しかったことを思い出します。ただ生徒にとっては、朝・放課後に課外があり、宿題も多く課されましたし、また、定例テストを行い、生徒指導も厳しかったので、苦しく辛いものだったと思います。あの当時の苦しさを乗り越えてきた皆様ですから少々の困難には負けるはずありません。物事には良し悪しがあります。高校生活で得られなかつ

たものもあるでしょうが、得たものもあったのではと、私は勝手に思っています。

あの頃、私は単純に「頑張れば出来る。出来ないのは、意欲と努力が不足しているからだ。」と精神論で皆さんと接してきました。その中、皆さんは、よく頑張ったと思います。

特に、部活動生徒の勉強との両立は大変だったと思います。重いカバンを持って、冬の薄暗い田んぼの中の道を南行橋駅まで歩く生徒の姿が思い出されます。

私は、残りの人生、慈しみと寛容の心を持って過ごしていきたいと思っています。また、季節の移ろいを感じるとともに、自然との触れ合いを増やす生活もしていきたいと思っています。

私は、いつも車で京築地区を移動していますので、見かけた時は、声をかけて下さい。

最後になりましたが、福岡県立京都高等学校のますますの発展と、卒業生、46回生皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

また、常磐会総会を開催に導いた幹事をはじめ関係者の御苦労に、心から感謝申し上げます。

「46回生の皆さんへ」

46回生 3年2組担任

吉田 武彦先生

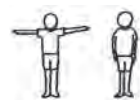
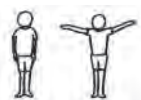


常磐会会員の皆様、ご無沙汰しております。昭和63年度より6年間京都高校で勤務させていただきました吉田です。こう書きながら、あれは二つ前の元号の時代だったんだな、と時の流れを実感しております。

私は昭和63年の春、大学を卒業すると同時に新規採用教員として京都高校に赴任しました。同じ県内でも南部で生まれ育った私にとって、京都（みやこ）という読み方はかろうじて知っていました。が、行橋という場所がどこにあるのか、はたまた京都高校とはどのような学校なのか、全く知らない状態でのスタートでした。

赴任先が決まった翌日、久留米の実家から、学生時代から乗ってい





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

た400ccのバイクで地図を見ながら峠を越えて行橋に来て、不動産屋を回ってアパートを決め、行橋での一人暮らしが始まりました。

青春熱血教師を夢見ていた私にとって、アパートでの一人暮らしであったことは、中学、高校、大学と続けてきたサッカー部の顧問にしていたことと並んで、非常に恵まれた環境でした。大きな大会の後には部員たちがアパートに押し寄せ、夜通しいろんな話をしながら盛り上がりたり、また、なかなか学校に来られない生徒を自分のアパートに泊めて、1週間ほど一緒に登校したこともあります（一人とも寝坊して遅刻して行ったりしましたが）。

サッカー部ではまだ20代で体が動いていたので部員たちに混ざってプレーしていました。指導理論も実践も全然足りていませんでしたが、一緒に目一杯サッカーを楽しんでいました。

そしてそうやって直接関わった生徒たちとの関係が、他の生徒たちとの関係にもいい影響を与えてくれて、すごく楽しくて充実した6年間でした。この京都高校での経験がその後の私の30数年の教員

生活を支えてくれたのは言うまでもありません。今でも私のスタンスは当時と根本的には変わっていません。本当にありがとうございます。

行橋で生まれた二人の子供達ももう30歳を越え、孫も二人になりました。教員としても60歳を機に退職し、今は学習支援員として働いています（サッカー部の監督はまだ続けてますよ）。これからも京都高校、行橋での日々が私を支えてくれると思います。

皆様もお身体に気をつけてお過ごしください。またどこかでお会いできる日を楽しみにしています。

「46回生の皆さんへ」 46回生 3年9組担任

木部 勝志先生



令和八年度常磐会総会の開催を心からお祝い申し上げます。

四十六回生の皆さんが卒業して早三十三年、時間が経つのは早いものですね。皆さんは「知命」を過ぎ、社会のそれぞれの持ち場で大いにリーダーシップを発揮されていることと思います。（私は現在、豊前市にある青豊高校で地理の非常勤講師としてお世話になってます。）

四十六回生は、私が京都高校に赴任して初めて担任した学年でした。私が担任したクラスの皆さんは、勉強はもちろん頑張っていました。部活生が多く、体育大会、文化祭、クラスマッチといった学校行事にも力を注ぎ、好成績を収

めていたと記憶しています。私はまだまだ未熟で（当時は三十代前半）、至らない点も多々あったと思いますが、標榜していた「学力三分、人間七分」を皆さんが体現してくれたものと確信しています。

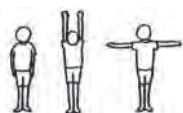
今年で教師生活四十五年になりますが、担任した旧三年九組の皆さんに還暦のお祝いをしていただいたり、近年は親子二代にわたって教えることも時々あったりして、歳を感じるとともに教師という仕事の素晴らしさを実感しています。

この度は、寄稿文の依頼を受け、当時を振り返る良い機会になりました。当時の校友会誌や卒業アルバムに時間を忘れて見入り、懐かしく楽しい一時を過ごすことができました。このような機会をいただき、本当にありがとうございます。

これまでの知見が通用しない、難題が次々に生じるような現在にあつて、皆さんは社会の最前線でお体に気をつけて、それぞれの持ち場で力を発揮してください。

結びに、常磐会並びに京都高校の益々の御発展と、同窓生の皆様の御多幸をお祈りして、拙稿を閉





じさせていただきます。

昨年五月、自宅敷地内の畑で作業中、京都高等女学校の校章（昭和二年 守田千穂教諭考案 材質は銀台に七宝）を見つけました。

私の亡くなった叔母が同校の同窓生でしたので、おそらく叔母のものだと考えられますが、叔母は大正十五年（一千九百二十六年）生まれですから、八十年以上畑にあった可能性があります。校章は大きな傷みもなく、しばらく我が家の仏壇にて保管した後、叔母の長男（私のいとこ）にお返ししました。京都高女を含む京都高校との縁を感じさせる不思議な出来事でした。

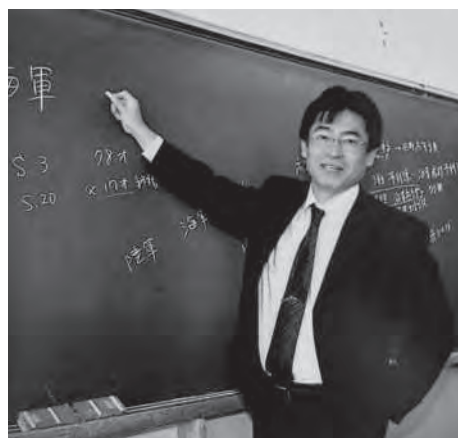


「京都高校

59回生の皆さんへ」

59回生 3年2組担任

大塚 宏志先生



京都高校59回生の皆さんは私にとって京都高校で最初の担任をした思い出深い学年です。皆さんが2年生になった春に京都高校に赴任しました。今川の土手は菜の花と桜が満開で、このような美しいところにある高校に通っている生徒たちに会うことに期待が膨らみました。上森学年に配属され、担任を命ぜられました。始業式の日初めて会ったクラスの生徒は皆暖かく私を迎えてくれ、私がまどつていと学級委員長の浦本君や安部さんがさりげなくサポートしてくれました。本当にありがと

うございました。

京都高校の「京都」の由来を調べてみると、古事記や日本書紀に書かれている有名な日本武尊（ヤマトタケル）の父である第12代景行天皇が九州に親征した際に現在の行橋市あたりに行宮（かりみや）を設けたことから、ここを京都郡と呼ぶようになったそうです。このような古い歴史を持つ土地に建てられ、百年以上の伝統がある京都高校に勤めた20年間は私の教員人生で最も充実した時間でした。修学旅行では一面の銀世界でスキーを楽しみ、文化祭ではピカソの「ゲルニカ」を勝手に色づけしたものを展示した「大塚美術館」をいっしょに作りましたね。

私は戸畑区にある明治学園高校であいかわらず世界史を教えています。40年以上教えていますが、飽きることがありません。教科書に書いてある事実の背景には何があったのかを調べたり、生徒におもしろいエピソード（ネタ）を話したりすることが私の生きがいになっています。時々くだらないダジャレも言って生徒に迷惑をかけていますが。（笑）

皆さんは京都高校を卒業されて

19年経ちました。それぞれ色々な

経験を乗り越えてこられてきたことと思います。社会的な責任も重く担われていることと思いますが、時には、今川橋を歩いて校門をくぐっていた高校生の頃の自分を思い出して、その頃抱いていた「志」を振り返ることも大切でしょう。青春の3年間を共に過ごした仲間との絆を育みながらこれからの人生を歩んでいていただきたいと願っています。どうぞお元気で。

「71回生の皆さんへ」

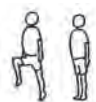
71回生 学年主任

松野 茂先生



常磐会総会の開催おめでとうございませう。

このたび執筆のご依頼をいただき、当時は振り返る機会を得ることができました。当時、2周目の学年主任としての慣れもありなが



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

ら、日々、奮闘していたことを思い出します。文化祭や体育大会等の学校行事はもちろん、日々の授業や部活動の指導等、なつかしく感じられます。振り返れば楽しい思い出ばかりでしたが、卒業後、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、成人式や同窓会等の行事が中止や延期になったことは、何とも言えない状況だったことだったと思います。しかし、卒業後であってもできることを考え、調整し、京都ホテルでの同窓会では、多くの同窓生や先生方が集まり、楽しい時間を過ごすことができました。卒業後であっても「すごいなあ」と感心させられた学年でもありませんでした。

さて、近況について少し書きたいと思います。令和4年3月に12年間勤めた京都高校を離れ、京築教育事務所に3年間お世話になりました。そのときに、多くの教員たちが京築地区の小中学校で教職員として活躍している姿を見ることができました。研修等で見つけたときは、楽しい気持ちになったり、がんばっているのだなあと感心したことを思い出します。令和7年4月からは、青豊高校に教頭として勤務しています。青豊高校は県内では10数校しかない「総合学科」の高校で、2年生から人文科学（文系）、自然科学（理系）、グリーンライフ（農業）、ビジネス（商業）、生活デザイン（家庭）の5つの系列に分かれて学習していきます。普通科のように文理を選択するだけでなく、自分の興味・関心や進路について入学後から考え、系列選択を行うことや、農業・商業・家庭の専門的な学習ができることが特徴の学校です。忙しい日々を送っていますが、多くの先生方に支えられ、充実した日々を送っています。

現在、何とか仕事ができているのも、皆さんと過ごした日々があつてこそだと思っています。授業をしたり、部活動の指導をしたりすることはほとんどありませんが、先生方と生徒のこと、学校のことを考え仕事することができているのは、日々奮闘していた日々のおかげです。今の仕事に楽しさ、やりがいをもっているところですが、いつかまた、授業や部活動の指導をしたい、とも思っています。最後に、皆さんの御健康と御活躍を心からお祈り申し上げます。また、どこかで会いましょう！

「71回生の皆さんへ」 71回生 3年6組担任

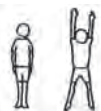
山下 葉子先生



ええています。「ミヤコ高校に赴任が決まりました。」「場所はわかりますか？」（…ミヤコ高校？聞いたことないな、でも知らないって言ったら、採用が取り消されるのかしら）この間わずか0.5秒。私は、「知っています！」と答えました。今、白状しますが、全く知りませんでした。申し訳ありません。電話の後、すぐに調べました。最初に出たのは「宮古高校」。え、沖縄！？ あ、行橋市に「京都高校」ってあるぞ。京都と書いて、「みやこ」と読む。なるほど、なかなかカッコいい。そんなこんなで、京都高校にお世話になることになりました。

京都高校では7年間勤務し、2回の卒業生を送り出す機会をいただきました。今回の総会の当番幹事の皆さんは、私が教員生活で初めて担任をし、送り出した生徒です。時の流れを感じるとともに、皆さんがそれぞれの場所で、自分らしく頑張ってくれていることを想像して、幸せな気持ちでいっぱいです。

皆さんは、「嵐を呼ぶ学年主任」こと、「松野学年」のもとで、すく



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

すぐと成長していきました。入学式は桜を散らす春の嵐でした。「自律と協働の体験活動」で英彦山青年の家に宿泊した際は、地震に遭いました。あの時は本当に怖かったですね。私は緊急地震速報が鳴った瞬間、皆さんのいる部屋に走り出そうとして教頭先生に怒られました。入学時から「何かが起こる」学年でした。他にも修学旅行で起こった「書き置き事件」、終礼のスピーチで突然始まるソロリサイタル：と、思い出を語りだしたらとめどなく溢れてくるので、あまり多くは語らず、ここでやめておきます。

皆さんは、26歳になった今、高校時代に思いを馳せてみると、どんなことが思い出されますか？高校生活を送っていた当時は、勉強に部活に学校行事に、いろいろなことに追われ、必ずしも毎日楽しいことばかりではなかったかもしれません。ただ、ちよつと年齢を重ねて、振り返ってみると、どうでしょう。きつかったけど楽しかったことや、面白かった記憶の方がよみがえってくるのではないのでしょうか。そして、それらの経験や記憶が、今の皆さんを支える一部になっているのではないのでしょうか。

私も初めての担任で、毎日毎日うまくやれるだろうかとドキドキしていました。皆さんの明るさ、優しさ、ユーモアに日々助けられていました。そういえば、卒業式の日に、皆と離れたくないと駄々っ子のように号泣してしまいましたね。そう思えるくらいに、皆さんは私にとって大切な存在でした。今の私があるのは、間違いなく皆さんのおかげです。京都高校で皆さんと過ごし、経験したことが、今の私の教員生活の大事な礎となっています。

さて、四月から私は転勤し、現在は新たな学校で一年生の担任をしています。教員生活も十二年目に突入しました。できれば、今の生徒たちを卒業まで見届けられたらいいなと思っています。

皆さんも、仕事では後輩ができたり、ちよつと重要なポジションにいたりする時期でしょうか。大人になってからも、楽しいことばかりではないけれど、日々の小さな幸せを見つけて過ごしてくれていると幸いです。そして、高校時代も含めて、自分が大切にしたいと思った「繋がり」を、是非大事にしてください。皆さんが何かにくじけそうになった時、その「繋がり」が皆さんをきつと支えてくれて、前に一歩進めてくれるはずです。誰かが自分のことを思ってくれている、それだけで踏ん張れるエネルギーをもらえます。私も、卒業後、時々ご飯に誘われる卒業生がいます。その卒業生が私を思い出してくれた時、私が彼らを思い出した時、互いに何かエネルギーを与えているのではないかと思います。私はこの「繋がり」をこれからもずっと大事にしていきたいです。だんだん疎遠になってきたとしても、私はいつもどこかで、皆さんの健康と幸せを願っています。

皆さんのことを思ってくれている人がいることを忘れずに、これからも皆さんらしく頑張ってください。

后会定期（また会う日まで）！





卒業生からのおたより

「常磐会総会に寄せて」

高校46回生 吉竹 佐輝子



この度は2026年度常磐会総会の開催、誠におめでとうございます。また、実行委員会の皆様にはお忙しい中ご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、45・5回生の私がこのよう

な執筆の機会を頂いたのは、先日の46回生の関東同窓会でのことでした。あまりお酒が強い私ですが、懐かしい面々との思い出話に花が咲き、ついお酒も進んでしまいました。気づけば執筆の依頼を受けていました。笑

京都高校始まって以来の問題児と言われた私が、イギリスの故エリザベス女王陛下の90歳生誕記念パーティにもご招待を頂き、ウィンザー城での記念式典にも出席させて頂いた今の立場があるのは、全て恩師である藤永先生のおかげです。「オヤジ」の名称で怖い先生だと生徒にはよく言われていました。が、私にとっては厳しくも優しい第2の父です。

ご存知の方もいるかもしれませんが、私は京都高校始まって以来初であろう、高校在学中に漫画家デビューをしました。今とは違ってオンラインミーティングもない時代、担当との打ち合わせは直接顔を合わせてするため東京へ行くことも多く、学業との両立はとても難しかったのです。当時の私は、反抗期と重なっていたこともあり、漫画家になることに反対していた両親と毎日のようにぶつかっていた

ました。また若さゆえ、漫画家デビュー出来たことで舞い上がっていたこともあり、高校を辞めてそのまま上京しようと考えていました。そんな私に、誠心誠意向き合ってくれたのは、1年の時の担任だった藤永先生でした。「高校を辞めて上京します」と息巻く私に、「今は良いかもしれない。でもきつといつか高校を辞めたことを後悔する日が来ると俺は思うぞ」と、家にまで来て私と向き合い論してくれました。そして「俺が校長を説得するから、1年後に必ず戻ってこい」と言っていて、藤永先生が校長先生に1年間の休学を掛け合ってくれました。当時は、病気が留学など特別な理由がないと、休学の許可はもらえなかった時代でした。おそらく私は京都高校初の、私的理由で休学を勝ち取った生徒だと思います。笑

1年間休学した私は、ひたすら漫画を描き続け、新人賞も受賞することができました。新人賞を受賞した後、私が真つ先に報告に行ったのは、親でもなく友人でもなく、藤永先生のいる京都高校でした。他の大人達がチャホヤしてくれるなか、藤永先生だけは「佐輝子、新人賞はすごいことだけど、流され

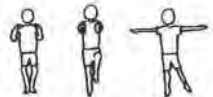
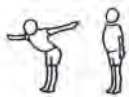
るなよ。必ず戻って復学しろよ」と言いました。その時の私は「もっと褒めてくれて良いのに」とちよつと不満に思ってたのですが、今思えば、チャホヤされて少し天狗になっていた私に警鐘を鳴らしてくれたんだと思います。その言葉は深く胸に残り、藤永先生との約束があったからこそ、私は復学して卒業することができました。

それに1年休学したおかげで、45回生とも46回生とも高校生活を共に過ごすことができ、今では45・5回生として、こうして今ここに執筆させて頂いています。

大学進学した後も、悩んだり迷ったりした時は、いつも藤永先生を訪ねました。

漫画を描くことよりストーリー作成の方が好きな自分に気づいた時、方向性を迷っていることやテレビ局から仕事の声をかけられたこと、こんな仕事を今やっているなど、自分の親にも相談しないことでも話していました。いつも真摯に向き合って話を聞いてくれた藤永先生でしたが、今思えば常に「ずるい大人たちに利用されるな。気をつけろ」と言われていました。その時はあまり分かっていませんでしたが、





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

私がいまにも世間知らずのまま、たくさんの仕事を引き受けているのを心配してくれていたのだと思います。今なら分かりますが、私は確かに当時かなりの収入はありましたが、やっていた仕事量に対しての貰っているギャラは少なかつたと思います。そして一番酷かったのは、詳しくはここには書きませんが、自分の作品を他者の作品として発表されたことでした。

せっかく藤永先生が警鐘を鳴らしてくださっていたのに気づかず、私は結局ずるい大人達に利用されてしまったのです。

ともあれ、いろんな経験や試練を経てきた自分があるからこそ、今の自分があります。そしてその都度、悩める私を叱咤激励して支えて下さったのは、間違いなく藤永先生でした。

「お前なら何でもできるよ」と言っただけだった藤永先生の言葉から、その後の私は、高校生の時からずっと走り続けてきた仕事から一旦距離を置くことにしました。

仕事に追われていた日々から一転、自分のやりたかったことやチャレンジしてみたかったことに重点を置き、高校の教師免許を取得した

り、スキューバダイビングのインストラクターの免許を取ったり、イギリス留学に行ってみたり、今まで時間がなくて出来なかったこと全てにチャレンジしました。

その後は会社員として海外勤務したり、高校教師として不登校生と向き合ったり、ここには書ききれないくらいたくさんの経験を経て、今現在はリゾート開発やホテル業を手掛ける会社を営んでいます。

高校生から仕事をしていたおかげで人脈だけは広いので、日本国内だけでなく、イギリス留学で得た語学力を活かして、ドバイや台湾、東南アジア各地にも支社があります。プライベートでは去年、自分自身の50歳記念(半世紀記念)として、南極点到達へのチャレンジをしました。南極大陸に2週間弱滞在し、マイナス30度の中、無事に南極点に到達することができました。

ちなみに、学者や政府関連以外で、一般人として南極点に到達した日本人女性は、私が初めてだそうです。これで6大陸は全て制覇しました。笑

最後になりますが、問題児を問題児として扱わず、きちんと話を聞いて向き合ってくれた藤永先生のお

かげで、社会貢献ができる大人としての今の私があります。藤永先生への感謝、そして京都高校と常磐会の益々の発展を祈念し、結びの言葉とさせて頂きます。

「高校時代の思い出とその後」

その後

高校46回生 宇都宮 咲子

この度は2026年度常磐会総会の開催、誠にありがとうございます。今回、このような形で執筆の機会を頂き、大変光栄です。

高校時代の一番の思い出は生徒会長をやらせていただいたことです。転機は生徒会長選挙直前。なぜか女子だけが体育館に集まっていた時、「何で生徒会長ついても男子なん。女子がなつてもいいやん。うつちゃん、なればいいのに」誰かがそう言うとい斉にみんなの眼がこちらを向きました。一度は丁寧に

お断りしたものの、誰もが推してもらえるわけではない、だったらその声に応えてみよう、そう思い直し立候補、当選。トップダウンではなくボトムアップ、すべては全校生徒の利益のために、そのことを念頭に活

動開始。卒業式、入学式、クラスマッチ、色々な行事を経験する度に、私たちは組織として成熟していった実感がありました。その集大成が文化祭。創立77周年であったことから人文字を企画。紆余曲折ありましたが、撮った写真は下敷きとテレフォンカードにして販売。売り上げはユニセフに全額寄付。今思い出しても本当によくやったと思います。卒業した時、やり切った、そう思ったことを覚えています。私たちの代で始めた卒業生へのコサージュ、33年経った今でも続いていると知りました。実現までにはいろいろありましたが、あの時の踏ん張り、努力が報われたと思います。



生徒全員による人文字（文化祭・生徒会行事として、今年で創立77周年に当たる）

卒業後は理学療法士（PT）になるべく専門学校へ。3年働いた後、





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

今度は鍼灸師を目指し福岡市内の専門学校へ。それに伴い次の仕事を探さなければならなくなった時のこと。紹介された整形外科で、院長は履歴書を見るなり「京都か、おれは小倉高校だ。なんだ、日豊本線組じゃないか。で、いつから来れる？」その場で仕事が決まりました。院長の理解もあつて働きながら大学院へ進学することも出来ました。その後、専門学校で講師を務めることに。教科書を読むだけのつまらない授業はしたくない、さあ、どうしたものか。そんな時に思い出したのは高校時代の恩師の顔。物理の江崎先生。3択で問題を出してくださり、答えは決まった番号。これなら間違えて恥ずかしい思いをすることはありません。現国の吉田武彦先生。「作者はどう思ったのだと思う？」質問に無言のまま立ち尽くす指名された同級生。沈黙は20分続き、その間、先生は怒っているのだろうか、それとも何か裏があるのだろうか、そんなことを考えているとようやく、「わ、分かりません」と蚊の泣くような声で答える同級生。すると「そうね、作者の気持ちなんか、本人じゃないと分からんよね」教室内の空気が一気に緩んだのを覚

えています。圧をかけて正解を答えさせるよりも、しっかりと考え自分の言葉で発言するまで待つ、なかなかできることではありません。私が教壇に立つことがあれば生徒の答えが例え間違つていても、そこで否定せず正解に導くよう心掛けよう、なぜかそう思った事を覚えています。現代社会の大塚先生。テストは正解か不正解しかなかった時代。ある時、テストでどうしても答えが思い出せなかった同級生は矢印を引き裏面に「大英博物館に展示され、先生がその石の裏面に『ひろし』と彫った石」と書いたところ、○でも×でもない部分点1が加点されていました。正解にたどりつけなくても授業をちゃんと聞いていたのだから部分点、に衝撃を受けました。のちに、名前を彫ったのは冗談よ、と先生は言われましたが、私たちはロゼッタストーンの事をひろしの石と呼んでいました。大人になって初めて大英博物館を訪れた時には、真つ先に見に行き人垣をかき分け裏面に回つて、当たり前ですが『ひろし』の名前がないことを確認しました。一見、どうでもいいエピソードが意外と人の記憶に残るのだというのを実感しました。一年の時の

担任の秋元先生。チョークを手の中で転がしながら「あのな」で始まる先生のお話は直接その日の授業とは関係がないのですが、哲学者を始めとする偉人にまつわる話、自然の摂理、とても面白く自分でも調べてみようと思わせてくれるものでした。そんなことを思い出しながら、どうやったら学生のヤル気スイッチを押せるのか、結論は私が受けた教育のいいところ取り。自分の経験したことの上手く行つたこと、上手くいかなかったことのエピソードを熱量を持って伝えるしかないのではないかと思いつきました。将来医療人となるのに見過ごせない態度の学生には、辻畑先生や小野先生を思い出し、論じました。見逃す方が簡単で、向き合うのは非常にエネルギーがいることだと、その立場になって初めて分かりました。今は学生から教員も評価される時代。おかげさまで授業のアンケート結果は上々。自由記載欄に先生の小話が面白い、という感想が非常に多く、方向性は間違つていないなと一安心。教育の現場で結果が出るのは時間がかかりますが、そう思うと、私の土台・血や肉になったのは高校時

代と言っても過言ではありません。徹しくも愛情を持って接して下さった先生方に、この場をお借りしてお礼と感謝を申し上げます。講師業もひと段落、今は鍼灸院をやりながら、クリニックや整形外科でも仕事をしています。先日、関東在住の同級生に声を掛けて同窓会を開催しました。32年ぶりに会う人もいましたが、国を護理、市民生活を支え、生命を助け、物流や社会インフラを支える、そんな同級生を遅しく、誇らしく思いました。「集合時間はやっぱり5分前行動かね？」「当たり前やろー！」「こんな会話が通じるのも京都生ならでは。関東同窓会にも顔を出した私ですが、卒業して30年近く同窓会にも出ていませんでした。転機は2年前。市のSNS講座に申し込んだところ、受付で「宇都宮さん？」と声を掛けられ恐る恐る振り返ると、そこには7組の土肥くんの姿が。「なんでどつくんここに？」「だって俺が企画したんやもん」そこでの再会がきっかけで同窓会の実行委員をやることに。気付けば、京都体操広報部会副部長としてInstagramの中の人やっています。こんな偶然





福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

ある？と思うと同時に誰かが声を掛けてくれないと、意外と参加しにくいということに気付きました。あの時、声を掛けてくれた土肥くん、ありがとう。

そして、小森実行委員長のもと、「楽しくなければ同窓会じゃない」をスローガンに、私達自身が楽しむ、個人的には、周りには無理強いない、そう思いながら活動してきましたが、懐かしい顔に一人、また一人と会ったたびに、とても嬉しくなりました。

後輩の皆さんの中に、毎日が面白いくないなあと思っている人がいたら、何か動いてみることをお勧めします。鳴かぬなら鳴かせてみせようホトトギス、楽しくないのなら自分が動いて楽しくすればいい、30年以上前の高校時代に得た気付きでもあり、そんな気持ちで今も過ごしています。

人生100年時代、だとしたら、私たちは折り返し地点です。これまで気付かないところで、有形無形、色々な形で先人の恩恵を受けてきた。これからは、自分は何ができてののか、後輩たちに、世の中に還元したい、そう思える年になりました。最後になりますが、京都高校および

び常磐会の今後の益々のご発展を祈念し、結びの言葉とさせていただきます。

「あの合唱が教えてくれた 「本気」の力」

高校59回生

末松 智成



わっています。日々の業務の中で、ふとした瞬間に思い出すのが、高校時代に仲間と過ごした時間、とりわけ三年時の文化祭でのクラス合唱の記憶です。

私たちのクラスは、二年・三年と持ち上がりではあったものの、当初は決してまとまりが強いとは言えない集団でした。それぞれが自分のペースで過ごし、どこか一体感に欠けていたように思います。しかし、文化祭のクラス合唱をきっかけに、その空気は大きく変わりました。

中心となったのは、絶対音感を持つ山川君の存在でした。彼の的確な音取りと真摯な姿勢に引つけられるように、次第にクラス全体が「せっかくやるなら本気でやろう」という雰囲気になっていきました。最初は雰囲気さがこちなかった練習も、回数を重ねるごとにまとまりが生まれ、放課後に教室に残って何度も歌い込んだ日々は、今でも鮮明に思い出されます。

本番では、これまでで一番の出来だと胸を張れる合唱ができました。結果は準優勝。決して悪い成績ではありませんでしたが、あれほど本気で取り組んだからこそ、結果発表の瞬間、クラス中から「ええー」とい

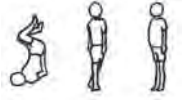
う悔しさと残念さの入り混じった声が上がったことをよく覚えています。それだけ全員が同じ方向を向き、本気で優勝を目指していた証だったのだと思います。

後日、多くの先生方から「このクラスがここまで頑張るとは思わなかった」「本当に感動した」といった言葉をいただきました。その言葉はとても嬉しく、自分たちの取り組みが誰かの心を動かしたのだと実感できた瞬間でもありました。

そして忘れられないのが、本番後に教室へ戻り、担任の徳満先生に向けてもう一度合唱を披露したことです。結果以上に、「このメンバーで歌えたこと」そのものがかけがえない時間であり、教室に響いた歌声には、達成感と一体感が満ちていました。

現在の仕事においても、立場や考え方の異なる人々と協力しながら一つの目標に向かう場面が多くあります。そのたびに思い出すのが、あの合唱で感じた「本気で取り組むことで生まれる一体感」と「人を動かす力」です。京都高校での経験は、確実に今の自分の土台となっています。

在校生の皆さんへ。日々の学校



福岡県立京都高等学校同窓会常磐会総会 2026

生活の中で、全力で取り組んだ経験は、必ず将来の自分を支えてくれます。最初はまとまらなくても、本気で向き合えば人は変わり、集団も変わります。その過程こそが、何より価値のあるものです。

皆さんが京都高校で過ごす時間が、将来振り返ったときに誇れるものとなることを、心から願っています。

「歯車は回り続ける」

高校71回生 末松 憲児



この度は令和8年度常磐会総会の開催、おめでとうございます。

今回、このような形で執筆の機会を頂き、大変光栄です。

「この文をどんな人が読むのかな」と考えたところ、高校時代の先

生方や同級生の顔が浮かんだので、その方たち向けに、いま私が頑張っていることを書きます。

高校を卒業して7年。現在私は家業を継ぐべく、見習い役員として奮闘しております。仕事で関わる方

からよく、年齢の割には落ち着いていると言われることがあり、昔からリーダー気質だったのだらうと思われることがあります。しかし実際はその逆で、高校時代の私は自己主張をすることが苦手なタイプでした。

僕が経験したリーダー職は、自ら「ハイ！僕やります！」と積極的にやるのではなく、大抵はなりゆきで就任する形でした。（と、記憶しております。）

特に2年生の体育祭での集団行動は、今思い返しても少し恥ずかしい思い出です。私は声がそこそこ大きいだけで、明確な指示を出せるわけでもなく、全体を見渡せるわけでもありませんでした。指揮者なのに練習のとき、何をどう伝えればいいのか分からずアワアワ。当時の赤ブロックのメンバー、頼りないリーダーで大変申し訳ありませんでした。

そんな私でしたが、大学時代にビジネス書を読むようになり、組織運

営やリーダーシップについて学びました。また、人前で話す練習も重ね、自分なりに知識と自信を身につけていきます。

「俺は何でもできる」

そう思っただけの親の勧めで奉仕団体に入り、初年度から幹事職を務めました。しかし現実には甘くありませんでした。どれだけ知識をつけても人を思うように動かせなかったのです。本で学んだことと現実の違いに戸惑う日々が続きました。同時に、高校時代部活でキャプテンをやっていた同級生たちを改めて尊敬した瞬間でもありましたね。

結局、問題は自分自身にありました。私は組織を良くしたいと言いつつ、自分の目標達成ばかりを考えていたのです。

組織全体を歯車で動く大きな機械と考えたとき、自分という歯車をいくら大きくしたところで、周りの歯車の形状やどの向きでどんな速度で回っているのか、そういったことを把握しないまま回ろうとすると、文字通り空回りしてしまうことがわかりました。

要は一緒にやっていく仲間のこ

とをちゃんと理解しようとしていなかったのです。

空回った分の運動エネルギーは無駄になります。そんなことがないように、エネルギーをしっかりと全体に伝播させることが大切だと、会社を動かす立場になってから日々日々実感しています。

会社で見習い役員になって3年が経ちましたが、やっと仲間になった人、まだまだ掴みどころが分からない人、社内にも社外にも、さまざまな人がいます。それでも一人ひとりと向き合いながら、少しずつ歯車を噛み合わせていっています。

私はきつと、この先も行橋で歯車として回り続けます。いつか私がいなくなつた後も、私や周囲の人たちが回ってきた歯車を誰かが受け継ぎ、この街が少しずつ発展し、幸せに暮らせる場所であり続けてくれるらうれしいです。

そんなことを想いながら、私は明日も仕事をします。

P.S. 私事です。が昨年7月に入籍しました。家族の大黒柱という慣れないポジションにアタフタしながら、妻と犬と3人で平和に暮らしています。





常 磐 会 会 則

- 第1条** (名称) 本会は福岡県立京都高等学校常磐会と称え、本部事務局を母校内に置く。
- 第2条** (目的) 本会は母校を中心として会員相互の連絡親睦を深め、併せて各自の知徳の向上発展を図り、母校の名誉の発場に寄与することを目的とする。
- 第3条** (構成) 本会の会員は通常会員（福岡県立京都高等学校全日制、定時制、福岡県立京都高等女学校及び併置中学校・専攻科の各卒業生）及び特別会員（同校現職員及び旧職員）よりなる。
- 第4条** (事業) 本会は目的を達成するために次の事業を行なう。
(1) 毎年本校卒業時、新入会員の歓迎をかねて入会式を行なう。
(2) 会報、会員名簿の発行。
(3) 母校の教育振興、会員の親睦向上のために必要と認められる行事。
(4) その他必要と認められる行事。
- 第5条** (機関) 本会本部に次の機関を置く。
(1) 総 会 総会は本会の最高決議機関であって会員全体で構成し、原則として毎年8月もしくは9月に開く。また会長が必要と認めたときは臨時にこれを開くことができる。
(2) 役員会 役員会は総会に次ぐ議決機関であって第7条に定める役員を以て構成する。
(3) 幹事役員会 幹事役員会は会長の諮問に応じ、必要事項を審議する。幹事役員は会長が委嘱する。
(4) 事務局 事務局は本会の会務運営上の事務記録を処理し、会計を掌る。
- 第6条** (支部) 都道府県市町村内または職場に本会支部を置くことができる。
- 第7条** (役員) 本会に次の本部役員を置く。
会 長 1 名 役員会が推薦し、総会の承認を得る。
名誉会長 1 名 現職校長
副会長 2 名 会長が推薦し、総会の承認を得る。
名誉副会長 現職教頭及び現職事務長
顧 問 会長が推薦し、役員会の承認を得る。(会長経験者)
名誉顧問 会長が推薦し、役員会の承認を得る。
監 査 2 名 会長が推薦し、役員会の承認を得る。
前年度総会実行委員長 1 名 前年度の総会実行委員長
当年度総会実行委員長 1 名 当年度の総会実行委員長
支部長 各支部より1名
回生代表 各回生より1名
前事務局長 1 名 直前事務局長
事務局長 1 名 本会会員で現職員
事務局次長 1 名 同上
学校内幹事(事務局員) 同上
- 第8条** (役員の任務)
会 長 会長は会務を総括し、会合を主宰し、会を代表する。
副会長 副会長は会長を補佐し、会長不在のときはこれを代行する。
顧 問 会長の相談に応じる
監 査 本会の会計を監査する。
当年度総会実行委員長 当年度当番回生を代表し、総会の企画・運営をし、総会誌を発行する。
支部長 支部を統括し、運営する。
回生代表 当該回生を代表し、回生内の連絡調整を図る。
事務局長 事務局長は本部事務局を統括し、運営する。
事務局次長 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局長が不在のときはこれを代行する。
学校内幹事(事務局員) 事務を掌り、処理する。
- 第9条** (任期) 役員の任期は2年とするが留意を妨げない、欠員が生じたときは役員会において選出する。
- 第10条** (会計) 本会の経費は入会金、寄附金、その他の収入を以て充てる。
会員は入会金として12,200円を納入することとする
- 第11条** (会計報告) 本会の会計年度は4月1日より始まり翌年3月末日に終わる。会費の収支決算は総会において報告し、承認を得る。
- 第12条** (会則改正) 改正は総会の出席者の過半数の議決を要する。

付 則

- この会則は昭和47年8月より実施する。
- 昭和60年8月一部改正。
- 平成10年8月一部改正。
- 平成17年9月一部改正。
- 平成9年8月一部改正。
- 平成13年9月改正。
- 平成25年9月改正。

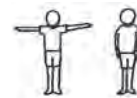
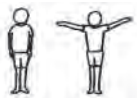


常磐会本部役員名簿

役 職	回 生	氏 名
会 長	高 31	和 田 雄 二
名 誉 会 長	校 長	合 満 聡
副 会 長	高 39	辛 嶋 智恵子
名 誉 副 会 長	参事兼事務長	兒 田 由美子
名 誉 副 会 長	教頭 (全)	中 野 和 仁
名 誉 副 会 長	教頭 (定)	稲 積 香
顧 問	高 4	白 井 末 利
顧 問	高 5	山 路 英 彦
顧 問	高 8	鍵 山 俊 輔
顧 問	高 15	尾 形 知 文
顧 問	高 22	若 山 直 樹
監 査	高 43	藤 井 昭 裕
監 査	高 39	江 本 庸 時
前年度総会実行委員長	高 45	炭 本 有 恒
本年度総会実行委員長	高 46	小 森 敏 弘
行橋市役所支部長	高 36	稲 田 健 太
常磐会関東支部 代表	高 24	村 田 佳 之
回生代表	卒業年	氏 名
高女 25 回生代表	S18 年卒	
高女 30 回生代表	S23 年卒	品 川 洋 子
高校 3 回生代表	S26 年卒	廣 松 順 子
高校 4 回生代表	S27 年卒	小 野 秀 明
高校 5 回生代表	S28 年卒	浜 田 哲 郎
高校 6 回生代表	S29 年卒	大 江 国 友
高校 7 回生代表	S30 年卒	
高校 8 回生代表	S31 年卒	伊 藤 繁 隆
高校 9 回生代表	S32 年卒	佐 藤 護 彦
高校 10 回生代表	S33 年卒	塩 塚 誠
高校 11 回生代表	S34 年卒	山 内 公 二
高校 12 回生代表	S35 年卒	角 谷 健 一
高校 13 回生代表	S36 年卒	
高校 14 回生代表	S37 年卒	松 下 清
高校 15 回生代表	S38 年卒	豊 守 斉
高校 16 回生代表	S39 年卒	
高校 17 回生代表	S40 年卒	佐 藤 政 治
高校 18 回生代表	S41 年卒	藤 木 巧 一
高校 19 回生代表	S42 年卒	野 本 俊 一
高校 20 回生代表	S43 年卒	
高校 21 回生代表	S44 年卒	有 門 信 芳
高校 22 回生代表	S45 年卒	石 田 慶三郎
高校 23 回生代表	S46 年卒	松 本 高 彦
高校 24 回生代表	S47 年卒	古 谷 芳 樹
高校 25 回生代表	S48 年卒	池 田 孝 博
高校 26 回生代表	S49 年卒	
高校 27 回生代表	S50 年卒	内 田 克 彦
高校 28 回生代表	S51 年卒	浦 杉 幸 雄
高校 29 回生代表	S52 年卒	小 野 誠 子
高校 30 回生代表	S53 年卒	森 辰 彦
高校 31 回生代表	S54 年卒	和 田 雄 二
高校 32 回生代表	S55 年卒	中 村 浩 行
高校 33 回生代表	S56 年卒	宗 裕
高校 34 回生代表	S57 年卒	執 行 和 彦
高校 35 回生代表	S58 年卒	田 原 康 行
高校 36 回生代表	S59 年卒	高 城 喜 典
高校 37 回生代表	S60 年卒	大 村 重 彦
高校 38 回生代表	S61 年卒	磯 田 卓 也
高校 39 回生代表	S62 年卒	江 本 庸 時
高校 40 回生代表	S63 年卒	渡 辺 克 紀

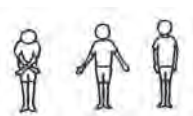
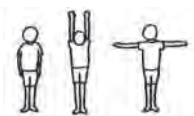
回生代表	卒業年	氏 名
高校 41 回生代表	H 1 年卒	山 中 あゆみ
高校 42 回生代表	H 2 年卒	阪 本 優紀彦
高校 43 回生代表	H 3 年卒	森 上 誠
高校 44 回生代表	H 4 年卒	豊 瀬 敦
高校 45 回生代表	H 5 年卒	炭 本 有 恒
高校 46 回生代表	H 6 年卒	土 肥 正 典
高校 47 回生代表	H 7 年卒	清 原 龍 彦
高校 48 回生代表	H 8 年卒	安 藤 智 志
高校 49 回生代表	H 9 年卒	村 上 和 也
高校 50 回生代表	H10 年卒	毛 利 敏 徳
高校 51 回生代表	H11 年卒	村 上 剛 史
高校 52 回生代表	H12 年卒	藤 井 樹
高校 53 回生代表	H13 年卒	右 田 篤 志
高校 54 回生代表	H14 年卒	宮 下 壽 文
高校 55 回生代表	H15 年卒	稲 田 直 行
高校 56 回生代表	H16 年卒	友 清 貴 文
高校 57 回生代表	H17 年卒	二 見 真紀人
高校 58 回生代表	H18 年卒	細 川 早 斗
高校 59 回生代表	H19 年卒	照 本 旭 生
高校 60 回生代表	H20 年卒	馬 場 亮 介
高校 61 回生代表	H21 年卒	有 久 将 司
高校 62 回生代表	H22 年卒	日 隈 優 介
高校 63 回生代表	H23 年卒	前 田 恵 佑
高校 64 回生代表	H24 年卒	鱒 渕 聡 志
高校 65 回生代表	H25 年卒	隅 田 拓 磨
高校 66 回生代表	H26 年卒	定 野 弘 希
高校 67 回生代表	H27 年卒	浜 里 俊 吾
高校 68 回生代表	H28 年卒	白 川 魁 星
高校 69 回生代表	H29 年卒	久 保 奨 己
高校 70 回生代表	H30 年卒	浅 富 義 徳
高校 71 回生代表	H31 年卒	末 松 憲 児
高校 72 回生代表	R 2 年卒	檉 本 光 太 郎
高校 73 回生代表	R 3 年卒	村 田 明 弘
高校 74 回生代表	R 4 年卒	高 橋 末 朋
高校 75 回生代表	R 5 年卒	前 橋 咲 太
高校 76 回生代表	R 6 年卒	片 桐 佑 一 郎
高校 77 回生代表	R 7 年卒	松 本 颯 心
高校 78 回生代表	R 8 年卒	武 次 駿 飛
定時制高校 2 回生代表	S38 年卒	中 山 克 己
定時制高校 6 回生代表	S42 年卒	大 平 英 明
定時制高校 19 回生代表	S55 年卒	石 川 國 孝
定時制高校 20 回生代表	S56 年卒	坪 根 能 度





常磐会総会イベント実績

1990	(H 2)	講演「ケント・ギルバート」	〈行橋市民会館〉
1991	(H 3)	講演「武田 イク」	〈行橋市民会館〉
1992	(H 4)	講演「橘屋 園蔵」	〈行橋市民会館〉
1993	(H 5)	講演「小川 宏」	〈コスメイト行橋〉
1994	(H 6)	講演「ケーシー高峰」	〈京都ホテル〉
1995	(H 7)	講演「井川 良久」	〈京都ホテル〉
1996	(H 8)	「GS チャリティフェスティバル」	〈行橋市民会館〉
1997	(H 9)	劇「銀河鉄道の夜」(真夏座)	〈コスメイト行橋〉
1998	(H10)	講演「舩添 要一」	〈行橋市民会館〉
1999	(H11)	講演「クロード・チャリ」	〈京都高校体育館〉
2000	(H12)	能・狂言「野村 萬斎 他」	〈行橋市民会館〉
2001	(H13)	講演「桂 文珍」	〈行橋市民会館〉
2002	(H14)	講演「宮本 隆治」元 NHK アナウンサー	〈行橋市民会館〉
2003	(H15)	講演「生島 ヒロシ」	〈行橋市民会館〉
2004	(H16)	講演「倍賞 千恵子」	〈行橋市民会館〉
2005	(H17)	講演「辻村 寿三郎」	〈行橋市民会館〉
2006	(H18)	独演会「春風亭 小朝」	〈行橋市民会館〉
2007	(H19)	「山下 洋輔ニューカルテット」JAZZ コンサート	〈行橋市民会館〉
2008	(H20)	講演「童門 冬二」	〈行橋市民会館〉
2009	(H21)	講演「松山 千春」	〈行橋市民会館〉
2010	(H22)	精華女子高等学校吹奏楽部演奏会	〈行橋市民会館〉
2011	(H23)	講演「金 美齢」	〈行橋市民会館〉
2012	(H24)	講演「武田 邦彦」	〈行橋市民会館〉
2013	(H25)	京都寄席 The Rakugo ! 「円楽独演会」	〈行橋市民会館〉
2014	(H26)	「桂 文枝」講演会	〈行橋市民会館〉
2015	(H27)	「鈴木 明子」講演会	〈行橋市民会館〉
2016	(H28)	「桑田 真澄」講演会	〈行橋市民会館〉
2017	(H29)	「渡辺 陽一」講演会	〈コスメイト行橋〉
2018	(H30)	「中村 文昭」講演会	〈コスメイト行橋〉
2019	(R 1)	「齋藤 孝」講演会	〈コスメイト行橋〉
2020	(R 2)	欧州紀行「中川 淳一」アンサンブルコンサート	〈コスメイト行橋〉
2021	(R 3)	「堀井 智帆」講演会※中止	〈みやこホテル〉
2022	(R 4)	「財前 直見」講演会	〈コスメイト行橋〉
2023	(R 5)	「竹林 洋史」講演会	〈コスメイト行橋〉
2024	(R 6)	「山田 邦子」講演会	〈コスメイト行橋〉
2025	(R 7)	「新垣 渚」トークショー	〈コスメイト行橋〉
2026	(R 8)	京都寄席 落語家・真打 柳家喬太郎	〈コスメイト行橋〉



歴代会長・校長

◎歴代会長

初代	有松 藤代 会長 (昭和24年約半年間)
2代	中尾 夕二 会長 (昭和24年～27年約3年間)
3代	白檉 陸子 会長 (昭和27年約半年間)
4代	八田 三千代 会長 (昭和27年～29年約2年間)
5代	石田 ハル子 会長 (昭和29年約半年間)
6代	藤田 春子 会長 (昭和29年～33年約4年間)
7代	柳田 照子 会長 (昭和33年～35年約2年間)
8代	和田 秀枝 会長 (昭和35年～42年約7年間)
9代	山路 英彦 会長 (昭和42年～53年約11年間)
10代	臼井 末利 会長 (昭和53年～62年約9年間)
11代	鍵山 俊輔 会長 (昭和62年～平成10年約11年間)
12代	尾形 知文 会長 (平成10年～17年約7年間)
13代	若山 直樹 会長 (平成17年～令和3年約16年間)
14代	和田 雄二 会長 (令和3年～)

◎歴代校長

氏名

(就任年月日)

初代	中川 直亮 (大正6年3月28日)
2代	大森 実 (大正9年3月23日)
3代	合屋 武城 (大正10年8月25日)
4代	小川 直熙 (大正15年9月27日)
5代	松本 寛吉 (昭和5年5月22日)
6代	浜上 宝作 (昭和11年3月31日)
7代	和田 熊彦 (昭和15年4月30日)
8代	荻原 豊 (昭和22年5月20日)
9代	八田 静夫 (昭和25年4月1日)
10代	木村 利雄 (昭和27年5月19日)
11代	古谷 弘 (昭和30年5月8日)
12代	大堀 孝生 (昭和34年4月6日)
13代	富本 市平 (昭和38年4月17日)
14代	田頭 喬 (昭和44年4月1日)
15代	米田 栄一 (昭和47年4月1日)
16代	林 真澄 (昭和51年4月1日)
17代	小袋 是郎 (昭和56年4月1日)
18代	香月 晴美 (昭和59年4月1日)

19代	鳥尾 恒美 (昭和62年4月1日)
20代	吉國 岩一 (平成元年4月1日)
21代	岡 泰司 (平成4年4月1日)
22代	梶原 辯二 (平成6年4月1日)
23代	山本 隆生 (平成9年4月1日)
24代	山中 英彦 (平成11年4月1日)
25代	金光 克彦 (平成13年4月1日)
26代	大下 一幸 (平成14年11月1日)
27代	大垣 洋之 (平成17年4月1日)
28代	亀田 陽一 (平成19年4月1日)
29代	武吉 恆 (平成21年4月1日)
30代	中村 潤 (平成24年4月1日)
31代	高須 雅光 (平成26年4月1日)
32代	丸内 毅 (平成27年4月1日)
33代	田中 浩子 (平成28年4月1日)
34代	木部 勝志 (平成30年4月1日)
35代	士田 秀夫 (平成31年4月1日)
36代	執行 和彦 (令和4年4月1日)
37代	白川 英治 (令和6年4月1日)
38代	合満 聡 (令和7年4月1日)

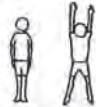




職 員 一 覧

職 名	氏 名	担当教科	職 名	氏 名	担当教科
校 長	合 満 聡		教 諭	稲 積 由 唯	外国語(英語)
参事兼事務長	兒 田 由美子		常 勤 講 師	北 川 敏 行	理科(化学)
教 頭	中 野 和 仁		常 勤 講 師	岡 崎 邦 明	地歴(地理)
主 幹 教 諭	炭 本 有 恒	国 語	常 勤 講 師	田 中 香 織	外国語(英語)
主 幹 教 諭	在 津 元 敬	保 健 体 育	常 勤 講 師	堀 田 寛 将	保 健 体 育
主 幹 教 諭	石 松 久 美	公 民	常 勤 講 師	後 藤 直 樹	理科(物理)
指 導 教 諭	横 山 笛 美	外国語(英語)	常 勤 講 師	義 經 沙 弥	国 語
教 諭	坂 井 道 孝	数 学	常 勤 講 師	熊 丸 翔 子	数 学
教 諭	伊 藤 睦 浩	外国語(英語)	実 習 助 手	南 波 和 昭	理 科
教 諭	古 田 成 寿	理科(物理)	養 護 教 諭	蒲 池 彩 夏	
教 諭	西 脇 裕 子	外国語(英語)	非常勤講師	大 森 アユミ	芸術(書道)
教 諭	玉 江 俊 樹	保 健 体 育	非常勤講師	岡 田 清 隆	芸術(美術)
教 諭	井無田 雅 博	数 学	非常勤講師	神 崎 博 史	地歴(日本史)
教 諭	繁 木 敦 子	国 語	非常勤講師	堺 谷 沙 織	数 学
教 諭	後 藤 誠 嗣	数 学	非常勤講師	三 田 美智代	家 庭
教 諭	清 水 裕 子	数 学	非常勤講師	松 田 ひとみ	芸術(音楽)
教 諭	棕 本 俊 輔	理科(物理)	非常勤講師	桃 井 正 彦	公 民
教 諭	森 川 愛 子	国 語	非常勤講師	森 林 雅 浩	国 語
教 諭	中 田 健一郎	数 学	非常勤講師	山 本 智 美	情報・家庭
教 諭	福 本 康 宏	保 健 体 育	A L T	Sun Chen-Pin	
教 諭	片 村 新太郎	外国語(英語)	事 務 職 員		
教 諭	甲 木 佑 佳	理科(化学)	参事兼事務長	兒 田 由美子	
教 諭	山 本 裕太郎	保 健 体 育	主 任 主 事	萩 川 明日香	
教 諭	斉 藤 友 香	地歴(世界史)	主 任 主 事	村 岡 匠	
教 諭	山 口 流 正	理科(生物)	主 事	木 良 望	
教 諭	柴 田 克 哉	数 学	主 事	福 山 清 佳	
教 諭	三 好 智	理科(生物)	事務主査(司書)	土 橋 奈緒美	
教 諭	入 江 香 織	数 学	主任技能員	森 美 子	
教 諭	高 島 麻 緒	国 語	主任技能員	村 上 健 治	
教 諭	藤 井 千 怜	地歴(日本史)	技 能 員	松 山 栄 吾	
教 諭	土 屋 拓 大	外国語(英語)	PTA 事 務	山 田 なおみ	
教 諭	田 代 顕	理科(化学)	進 路 事 務	小 山 明 菜	
教 諭	天 野 遥 平	地歴(地理)			
教 諭	新 開 友 香	国 語			





令和7年度進路状況および今後の入試展望

進路指導主事 石松 久美

大学入試改革の実施から数年が経過し、「一般選抜」「学校推薦型選抜」「総合型選抜」という区分は広く定着しました。大学入学共通テストについては、新課程2年目にあたる今年度、当初の予想どおり平均点の低下が目立ち、文系・理系ともに高得点者が減少する傾向が見られました。出題内容においては、複数の資料や図表を読み取りながら考察する問題や、習得した知識を日常的な場面で活用する問題など、引き続き思考力・判断力・表現力を問うものが多く出題されています。こうした傾向からも、単なる知識の習得にとどまらず、それを実際の場面で活用する力を日頃から育成していくことの重要性が一層高まっているといえます。

また、調査書や活動報告書、志望理由書などを通して、学力のみならず、主体性・協働性・探究的な学びの成果を評価する動きはさらに強まっています。学校推薦型選抜および総合型選抜の募集人員は増加傾向にあり、年内に進路を決定する受験生の割合も年々高まっています。一方で、一般選抜においても、基礎的知識の確実な定着に加え、それを応用する力がこれまで以上に求められており、早い段階からの計画的かつ継続的な学習が不可欠となっています。

令和7年度 国公立大学合格者数（既卒者を含む）

設立	大学名	学部	人数	設立	大学名	学部	人数
国立	北海道大学	法学部	1	国立	大分大学	理工学部	1
	大阪大学	経済学部	1		医学部	2	
	神戸大学	医学部	1		宮崎大学	医学部	1
	岡山大学	経済学部	1		農学部	2	
	島根大学	人間科学部	1		鹿児島大学	工学部	1
	広島大学	工学部	1	公立	神戸市外国語大学	外国語学部第2部	1
		経済学部	2		県立広島大学	生物資源科学部	1
	山口大学	教育学部	1		山口東京理科大学*	工学部	2
		国際総合科学部	1		経済経営学部	1	
		情報学部	1		周南公立大学	人間健康科学部	1
		工学部	4		経済学部	3	
		理学部	1		看護学部	1	
		医学部	1		下関市立大学	データサイエンス学部	1
		ひと・まち未来共創学環	1		山口県立大学	社会福祉学部	1
	九州大学	教育学部	1		文学部	6	
		工学部	3		外国語学部	1	
	九州工業大学	工学部	7		経済学部	1	
		情報工学部	4		法学部	4	
	福岡教育大学	教育学部	5		国際環境工学部	4	
	佐賀大学	理工学部	7		人間社会学部	2	
		経済学部	1		看護学部	5	
	長崎大学	工学部	1		福岡県立大学	国際文学部	1
		水産学部	1		福岡女子大学	経営学部	1
	熊本大学	法学部	3		長崎県立大学	地域創造学部	2
		理学部	1				
		工学部	1				
		共創学環	1				

*正式名称：山陽小野田市立山口東京理科大学

令和7年度 私立大学合格者数（既卒者を含む）

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国際医療福祉大学	1	梅光学院大学	13	産業医科大学	6
獨協大学	4	山口学芸大学	1	筑紫女学院大学	1
東海大学	3	九州共立大学	8	福岡女学院大学	3
法政大学	1	九州女子大学	6	西南女学院大学	11
明治大学	1	九州国際大学	11	九州栄養福祉大学	4
帝京大学	1	九州産業大学	22	福岡女学院看護大学	1
武蔵野大学	3	久留米大学	10	純真学園大学	7
創価大学	1	西南学院大学	15	福岡国際医療福祉大学	3
神奈川大学	1	第一薬科大学	3	崇城大学	4
関東学院大学	1	中村学園大学	1	別府大学	2
人間環境大学	3	西日本工業大学	16	立命館アジア太平洋大学	7
豊田工業大学	1	福岡大学	60	九州医療科学大学	4
名古屋外国語大学	1	福岡工業大学	11	西日本看護医療大学	3
愛知大学	2				
同志社大学	3				
立命館大学	8				
龍谷大学	2				

上級学校合格状況・就職状況

令和7年度	現役	既卒	合計
国公立大学	50	11	61
公立大学	37	2	39
私立大学	273	24	297
文科省管轄外	2	0	2
公立短大	0	0	0
私立短大	0	0	0
各種学校	23	0	23
事務	1	0	1
営業	0	0	0
技能	0	0	0
公務員	3	0	3
合計	4	0	4

いわゆる「大学全入時代」と言われる現在においても、自らの希望する進路の実現や、将来のキャリア形成につながる進路が容易になったわけではありません。社会や大学が求める力はますます多様化しており、生徒一人ひとりが「何を学び、何を深めたいのか」を主体的に考え、自らの将来像を見据えた進路選択を行うことが求められています。

本校においても、探究学習や進路指導をはじめとする教育活動全般を通じて、生徒の進路意識の向上に努

めています。今年度の3年生も、部活動や学校行事に全力で取り組みながら、日々の授業、課外授業、考查、模試、小論文対策などに真摯に向き合っています。進路選択の過程では迷いや悩みを抱える場面もありますが、自ら考え、試行錯誤を重ねながら、一歩ずつ着実に将来を切り拓こうとしています。その姿は、主体的に学び続ける力の表れであり、今後のさらなる成長が大いに期待されます。

生徒がそれぞれの可能性を最大限に発揮し、納得のいく進路選択を

現するために、学校の支援に加え、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力が不可欠です。今後も家庭と学校が連携を密にしながら、生徒一人ひとりの挑戦を温かく見守り、力強く支えてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、常磐会におかれましては、日頃より本校教育にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。今後とも、引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。





部活動活動状況

令和8年度 部活動加入率

文化部	男子	女子	計
1 華道	0	5	5
2 箏曲	0	7	7
3 茶道	0	9	9
4 写真	3	11	14
5 囲碁・将棋	3	1	4
6 書道	0	4	4
7 放送	1	10	11
8 煎茶	0	6	6
9 文芸	10	2	12
10 美術	0	15	15
11 吹奏楽	10	31	41
12 料理	1	30	31
13 英語(E S S)	14	21	35
14 S G	0	0	0
15 科学同好会	6	2	8
① 小計	48	154	202
生徒数	321	305	626
加入率	15.0	50.5	32.3

運動部	男子	女子	計
1 バレーボール	16	14	30
2 バスケットボール	29	16	45
3 野球	31	6	37
4 テニス	13	5	18
5 陸上	0	9	9
6 柔道	10	2	12
7 剣道	5	9	14
8 サッカー	41	4	45
9 バドミントン	31	26	57
10 バトン	0	8	8
11 ダンス	0	23	23
12 水泳	1	1	2
13 卓球	14	4	18
14 空手道	0	0	0
② 小計	191	127	318
生徒数	321	305	626
加入率	59.5	41.6	50.8

学年 部活動合計	全学年		
	男子	女子	計
①+② 総合計	239	281	520
生徒数	321	305	626
加入率	74.5	92.1	83.1

主な戦績 ※令和7年4月～令和8年3月までの期間での県大会以上

運動部	
水泳部	○第73回全九州高等学校水泳(競泳)競技会100m背泳ぎ 出場 ○令和7年度(第87回末弘杯)全九州高等学校選手権新人水泳競技大会 出場 県 100m背泳ぎ優勝 200m背泳ぎ2位
卓球部	○令和7年度福岡県高等学校卓球大会兼第94回全国高等学校総合体育大会卓球競技大会 県予選兼第78回全九州高等学校体育大会県予選 出場 ○第79回国民スポーツ大会卓球競技少年の部 1次県予選 出場 ○令和7年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)福岡県予選 出場 ○令和7年度福岡県高等学校卓球新人大会兼第59回全九州高等学校卓球新人選手権大会県予選 出場 ○令和7年度全国高等学校選抜卓球大会(個人の部)福岡県予選 出場
バスケットボール部 (男子)	○令和7年度福岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 出場 ベスト16 ○ウィンターカップ2025福岡県高等学校バスケットボール選手権大会 出場 ベスト24 ○令和7年度福岡県高等学校バスケットボール新人大会福岡県予選 出場
文化部	
囲碁将棋部	○第49回全国高等学校総合文化祭囲碁部門福岡県予選大会 第2位 ○第49回全国高等学校総合文化祭(香川大会) 出場
放送部	○令和7年度福岡県高校放送コンテスト県大会朗読部門 出場 ○令和7年度福岡県高校放送コンテスト県大会朗読部門 ○第2回 SBE全国朗読コンテスト 優秀賞 入選 ○第40回福岡県高等学校総合文化祭放送文化部門県大会 ○第9回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会 放送部門 出場 入賞
写真部	○令和7年度第9回全九州高等学校総合文化祭写真展福岡県予選 ○令和7年度福岡県高等学校総合文化祭写真展 佳作 ○令和7年度福岡県高等学校総合文化祭写真展 入選 ○令和7年度 福岡県高文連北九州地区写真展 特選 令和8年全国高等学校 総合文化祭写真展 推薦 準特選
吹奏楽部	○北九州吹奏楽連盟主催 第70回北九州吹奏楽コンクール ○北九州吹奏楽連盟主催 第58回北九州アンサンブルコンテスト 金賞受賞 金賞受賞
書道部	○令和7年度第40回福岡県高等学校総合文化祭書道部門揮毫大会 出場
美術部	○令和7年度北九州地区美術・工芸展 絵画部門 ○令和7年度北九州地区美術・工芸展 絵画部門 ○令和7年度北九州地区美術・工芸展 平面デザイン部門 ○令和7年度福岡県高総文祭美術・工芸部門県大会 絵画部門 ○令和7年度福岡県高総文祭美術・工芸部門県大会 デザイン部門 最優秀賞・生徒審査賞 特選 特選 特選 特選



定時制職員一覧・近況報告

職 名	氏 名	担当教科
校 長	合 満 聡	
教 頭	稲 積 香	
主 幹 教 諭	太 田 真 一	国 語
教 諭	吉 浦 祐 司	公 民
教 諭	竹 下 斎 明	数 学
教 諭	宮 本 壘 紀	保 健 体 育
常 勤 講 師	峯 野 光 善	外国語（英語）
常 勤 講 師	渡 邊 国 孝	地 歴（地理）
常 勤 講 師	毎 床 悠 企	理 科（化学）
養 護 教 諭	寶 田 早 苗	
非常勤講師	二 木 浩 子	芸 術
非常勤講師	三 田 美智代	家 庭
非常勤講師	山 本 智 美	情 報

定時制近況報告

はじめに、令和七年度の進路状況についてご報告いたします。昨年度は四年生十三名、三年生一名が本校を卒業いたしました。卒業後の進路につきましては、在学中からの仕事を継続している生徒もありますが、卒業生十四名のうち、進学が三名、学校を通じての就職が一名でした。

つぎに、令和七年度の主な活動についてご報告いたします。

九月に本校を会場として開催された「生活体験発表北九州地区大会」には、本校から一年生二名が出場いたしました。二名はこれまでの自身の経験を踏まえた発表を行い、見事、奨励賞を受賞いたしました。

また部活動におきましては、総合文化部の活躍が光りました。「行橋市美術展覧会（書部門）」において三年生三名が高校生特別賞、三年生五名が入選を果たしたほか、「行橋市人権啓発作品（書道の部）」では四年生二名が入選いたしました。さらに、福岡県高等学校書道教育研究部主催の「授業作品展」でも、三年生六名が受賞を果たしております。

本年度は新たに新生二十一名を迎え、全校生徒六十五名で新学期をスタートいたしました。生徒たちは、日々仕事に勉学にと、何事にも全力で励んでおります。





京都高等学校

2年

土屋 珠来

1 はじめに（参加を希望した動機やそのときの思いなど）

私は、「進路意識の向上」と「語学・異文化理解の深化」を目的に京都研修に参加しました。まず、京都大学・同志社大学の先輩方から、高校時代の学習法や苦手克服のアドバイスを直接伺い、自身の進路選択への大きな材料としていと考えました。また、以前のボラ

ンティア経験で得た「異文化交流の楽しさや学びの深さ」を活かし、京都という地で英語による実践的なコミュニケーションに挑戦することで、さらなる自己成長を図りたいと強く感じ、参加を希望しました。

2 研修での学びと成果（どのような場でどのようなことを学んだか）

本研修では、大学訪問、防災学習、班別自由研修、英語研修の4つを軸に活動しました。

まず、大学訪問では京都大学、同志社大学を訪れ、本校卒業生の先輩である瀬川さんと大庭さんから進路に関する具体的なアドバイスを頂きました。学習面では、古典の品詞分解や数学の自作問題作成、英語の文構造把握といった実戦的なルーティンを教わり、進路実現に向けた学習指針を明確にすることができました。また、指定校推薦に向けた評定の重要性など、現実的な目標設定についても深く学ぶことができました。

京都大学防災研究所宇治川オーブンラボラトリーでは、世界でも

有数の実験設備を見学し、竹林教授と田中教授による講義を受けました。講義では、普段の研究内容である地震による地殻変動の観測から、津波や火山のメカニズム、さらには構造物の破壊予測を行っていることを知りました。また開発した土砂が進行していくのかというシミュレーションまで見せていただき、自然災害を科学的に解明する最先端の研究手法を詳しく学ぶことができました。さらに講義の最後には、進路実現に向けた貴重なアドバイスをいただき、研究職という仕事の奥深さに強い関心を持ちました。続く体験学習では、想像を絶する自然の威力を肌で感じました。最大雨量強度300mm/hの「雨水流出実験装置」では、傘が全く役に立たない猛烈な雨を体験しました。視界が真っ白になり、叩きつけてくる雨の中は足場も悪く、避難の判断がいかに難しいかを身をもって教えてくれました。また、「浸水体験実験装置」（ドア模型）では、水深がわずか40cmに達するだけで、ドアがびくともしなくなる水圧の威力に驚き、浸水時のドアの開閉の困難さを体験すると共に、都市化の

発展に伴い、地下に居室を備えた建物が増えてきている現代社会において、氾濫時の情報入手と早期避難の重要性を理解しました。さらに、「実物大階段模型」による流水階段体験では、上から押し寄せる濁流に足を取られそうになり、足元が見えない中で階段を一段一段登ることはとても怖く、困難でした。これらの実験を通して、都市型水害がどれほど一瞬で命を脅かすのかを痛感しました。パンフレットで見る数字以上の「重さ」や「音」を体感したことで、ハザードマップを確認することや、何よりも「手遅れになる前の避難」が、自分や大切な人の命を守る唯一の手段だと強く再認識しました。

班別自由研修では、八坂神社や嵐山、京都駅、清水坂などを巡りました。歴史ある神社の厳かな雰囲気と、近代的な京都駅の構造との対比は非常に印象深く、京都が持つ伝統を肌で感じ、地元の食文化や店内の芸術的な設えに触れることで、五感を通して京都の伝統を堪能しました。

最後に、英語研修班での「English Exploration」では、着物姿で外国人リーダーと東本願寺や東寺を巡





京 都 研 修

りました。英語での交流を通じて、自国文化を再発見するとともに、文化の違いやリーダー国の様子などを積極的に対話を重ねることで、英語による意思疎通の楽しさやリーダーの母国での生活習慣や価値観について質問を重ねる中で、日本との共通点や驚くような違いを知り、世界の広さを実感しました。最初は「正しい英語を話さなければ」と緊張していましたが、リーダーが私たちの知らない様々な情報を共有してくれたおかげで、次第にリラックスし、グループのみんなで会話を楽しみながらお互いの文化について触れていくことができました。

最終日のワークショップでは、前日得た情報を振り返りながら、協力してリーダーに関するポスターを完成させました。他グループの発表やリーダーとの交流から更に視野を広げ知識を得る事ができ、この研修を通して自身の表現力と協調性、語学、コミュニケーションの面で大きな成長を感じられました。

3 今後の課題（学んだことをどのように活かしていきたいか）

今回の研修で得た数多くの刺激は、私のこれから的高校生活や将来の進路を選択していく上での大きな経験材料となりました。学習面では、先輩方から教わった「本質を突く学習法」をただ納得するのではなく、自分のルーティンのひとつとして実践していきます。特に今回得られた具体的な攻略法を日々の家庭学習に取り入れ、高い評定を維持するだけではなく、大学入学後も「自ら学び、考える力」を磨いていこうと思います。

今回の研修で得た「表現力」や「協調性」、そして「多方向から物事を見る視点」を糧に、将来の社会の課題に対して自分に何ができるかを考え、主体的に貢献できる人間になれるよう、これからの一日一日を大切に精進していきます。

京都高等学校 2年

大江 咲子

1 はじめに（参加を希望した動機やそのときの思いなど）

私が京都研修に参加したいと考えた理由は、自分を変えたいと思ったからだ。これまで私は、何かに挑戦する機会があっても「どうせ無理だ」「うまくいかないだろう」と考え、行動に移す前から諦めてしまうことが多かった。しかし、挑戦してみなければ結果は分からず、このままではいつまで経って

も成長できないと感じた。そこで今回は逃げずに挑戦してみようと考え、思い切って参加を決意した。また、研修に参加することで、英語に対する苦手意識を少しでも克服できるかもしれないとも考えた。英語が苦手な自分でも大丈夫だろうかという不安はあったが、自分を変えたいという思いから、苦手なことにも逃げずに挑戦していこうと心に決めた。これまでの自分なら避けていたようなことにも、きちんと向き合おうと思った。さらに、留学生と交流することで、自分の語学力を伸ばすだけでなく、異なる文化や価値観に触れ、視野を広げられるのではないかと考えた。このような経験は、自身自身の成長につながると感じた。以上の理由から、私は京都研修への参加を希望した。

2 研修での学びと成果（どのような場でどのようなことを学んだか）

今回の研修では、大学見学や留学生との交流、自由研修などを通して、多くの学びを得ることができた。これまでの私は、新しいことや苦手なことに対して消極的に





京 都 研 修



なりがちだったが、今回の経験を
通して、逃げずに挑戦することの
大切さに気づいた。

1 日目は、京都大学と同志社大
学を訪問し、在校生の話を聞いた。
大学の雰囲気を実際に肌で感じる
ことで、自分の進路についてより
具体的に考えるきっかけになった。
また、在校生の高校時代の勉強時
間を聞き、自分の努力量の少なさ
を実感するとともに、目標を達成
するためには継続した努力が必要
だと改めて感じた。自由研修では
京都市内を班で行動し、現地の人々
の優しさや温かさに触れ、人との
関わりのもつ大切さも実感した。特に
印象に残ったのは、バスで優先席
を譲っている姿や、道に迷った際
に親切に案内していただいたこと
だ。

2 日目は、京都大学防災研究所
宇治川オープンラボラトリーを訪
れ、防災に関する研究について学
んだ。地震や土砂災害、洪水など
の観測や研究内容を知り、災害へ
の備えの重要性がよくわかった。
さらに、流水階段や水圧ドアの体
験を通して、災害時にどう行動す
べきかも体感することができた。
研究職には理系だけでなく文系の

力も必要で、文章力や英語力も役
に立つことを知り、日頃の学習の
意義を再認識した。

午後からのフィールドワークや
最終日のワークショップでは、留學
生と共に活動した。交流を通して
日本との文化の違いを学び、また、
「Wake up to make your dreams
come true. (夢を実現するために
行動を起こしなさい)」 「Dreams
become real when you action
every day. (夢は、日々行動を積
み重ねることで現実になる)」とい
う言葉から、行動することの大切
さを改めて感じた。この活動を通
して、自分から話しかけなければ
会話は始まらないこと、間違いを
恐れず発言することが大事だとい
うことにも気づいた。簡単な単語
でも伝えようとすることで意思疎
通ができることや、英語で会話を
する楽しさも知ることができ、英語
への意欲が高まった。

一方で、外国人に話しかけられ
た際にうまく対応できなかったり、
リスニングができず会話について
いけなかったりした経験から、自
分の英語力やコミュニケーション
能力の課題も明確になった。しか
し、授業で学んだ英単語を会話で

理解できたときには、学習の成果
を実感でき、学ぶことの大切さを
改めて感じた。

今回の研修を通して、自分の課
題と向き合うとともに、英語への
意欲が大きく高まった。また、こ
れまで関わりの少なかった同級生
とも交流を深め、視野や人間関係
も広がった。

以上のことから、京都研修は自
分自身の成長につながる、非常に
有意義な経験だった。

3 今後の課題 (学んだことをど のように活かしていきたいか)

今回の研修で、自分の課題や弱
点を明確に認識できた。特に英語
力の不足や、自分から積極的に話
しかけなければ学びが広がらない
ことを実感した。この経験を踏ま
え、今後は以下の点に取り組んで
いきたい。

まず、英語学習では、授業で学
んだ単語や表現を日常的に復習し、
少しずつ会話で使える力を身につ
けたい。リスニング力を高めるた
めに、英語の音声や動画に触れる
機会を増やし、聞き取れなかった
ときにも焦らず理解できる力を養

う。さらに、英語で会話する場に
参加し、間違いを恐れず積極的に
挑戦していきたい。

次に、コミュニケーション能力
や主体性については、学校や日常
生活で積極的に話しかけたり協力
する場面を増やすことで、今回学
んだ「自分から行動することの大
切さ」を実践していく。また、異
なる文化や価値観に触れた経験を
大切にし、他者の考えや背景を理
解することで、自分自身の成長や
人間関係の幅をさらに広げたい。

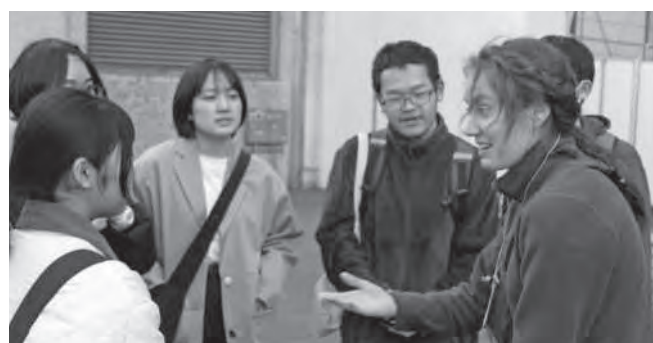
以上のように、今回の研修で得
た学びを日々の生活や学習に活か
し、英語力やコミュニケーション
力を向上させるとともに、主体的
に行動し、柔軟な視野を持つ人間
へと成長していきたい。

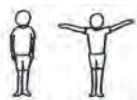




京 都 研 修







京都研修



編集後記

常磐会2026年度総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

本年度も総会誌を皆様のお手元へお届けできますことを、大変嬉しく思います。

まずは、本総会誌への広告掲載にご協賛いただきました皆様、ご寄稿いただいた皆様、貴重な資料や写真をご提供くださった京都高校の先生方、卒業生の皆様、そして制作に携わってくださったすべての関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

今年度の実行委員会は、「楽しくなくっちゃ同窓会じゃない!」をテーマに掲げ、一年間活動してまいりました。

総会は一日限りの行事ですが、その一日をより楽しく、より思い出深いものにするためには、長い準備期間と、多くの方々の支えが欠かせません。世代や立場を越えて集まった実行委員が知恵を出し合い、一歩ずつ準備を重ねてきました。

今年度は新たな試みとして京都体操広報部会を立ち上げ、京都高校の象徴でもある「京都体操」に改めて光を当てる活動を進めてまいりました。本誌にも、その取り組みを紹介する特集ページを新たに設けています。卒業生であれば誰もが心に残る京都体操が、世代を超えた新たなつながりのきっかけとなれば幸いです。

総会誌は、総会当日を彩るだけではなく、数年後、数十年後に読み返したとき、その時代の常磐会の想いや挑戦を伝える記録でもあります。この一冊から、母校への誇りや同窓生とのつながりを改めて感じていただければ、編集に携わった私たちにとってこれ以上の喜びはありません。

最後になりますが、本誌の制作にあたりご協力・ご尽力いただきましたすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。常磐会のさらなる発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念し、編集後記とさせていただきます。

2026年度常磐会総会実行委員会

総会誌部会

福岡県立京都高等学校同窓会常磐会 2026

実行委員長

46 小 森 敏 弘

副実行委員長

46 有 松 まゆり

59 照 本 旭 生

71 末 松 憲 児



協賛広告部会	総会誌部会	イベント部会	総会懇親会部会	京都体操広報部会	事務局
部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	事務局長
46 岡 直 幸	71 末 松 憲 児	59 末 松 智 成	46 大久保 俊 之	46 木 下 圭 介	46 土 肥 正 典
副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	副部会長	事務局次長(会計)
46 山 口 哲 平	46 溝 口 智 子 (英)	59 平 田 泰 浩	46 三 岳 一 恭	46 宇都宮 咲 子	46 笠 井 尚 美 (浜田)
部会員	部会員	部会員	部会員	部会員	
46 伊 藤 心	46 金 谷 聖 子	46 軍 神 宏 充	46 広 津 好 春	46 反 田 治	
46 満 江 郷 文	46 愛 甲 恵 美 (山下)	46 有 吉 寛	46 前 田 武 俊	46 北 山 圭 吾	
46 菊 池 裕 司	46 新 貝 尚 美 (太田)	46 上 田 真 吾	46 西 浦 知 子 (柏木)	46 榎 井 博 行	
	46 坂 本 麻 香 (中島)	46 宇佐見 裕 亮	46 伊 藤 幸 子 (山口)	46 奥 新一郎	
	46 笈 木 敬 志	46 野 田 恭 一	46 古 賀 知 恵 (末次)	46 村 上 政 雄	
	71 高 橋 広	46 鬼 頭 慶 次	46 古 賀 知 恵 (末次)	46 清 田 周 (高見)	
	71 白 水 誠 人	46 渡 邊 利 春	46 下 田 かおる (廣田)	46 河 瀬 知 美	
	71 西 村 翔 汰	46 中 村 篤 司	46 満 江 美 保 (中村)	46 枡 見 敏 弘	
		46 新 徳 健	46 春 口 温 子 (渡邊)	46 辻 真 純 (先川)	
		46 稲 田 拓 巨	46 牛 嶋 睦		
		59 茶 蘭 禎 行	46 稲 葉 理 恵		
			46 吉 竹 佐 輝子		
			46 渡 邊 真由美		

※数字は回生

表紙題字 3年9組 木山 孝徳

2026 年度 常磐会総会誌

発行日 2026年9月6日
 発行 2026年度
 常磐会総会実行委員会
 印刷 築上印刷有限会社

